

**ゲストルーム**  
 書斎はくつろげる読書として利用し、おりの来客があったときは2~3人程度はホストを勤めてくれることができる。  
 床の厚も薄くないので、季節の移りを感じることができる。

**トイレ2**  
 2階は来客用も兼ねる予定なので、少し広めに計画。

**EV**  
 新築のエレベーター利用に配慮して、エレベーターはできるだけフロアの中心近くに設置。  
 正面に光庭とテラス2が見え、空間の広がりを感じさせる。

**本棚**  
 手置代わりの本棚、趣味のものを飾る飾り棚としても利用可能。

**階段**  
 階段を上っていくと、正面に光庭とテラス2が見え、空間の広がりを感じさせる。

**テラス2・光庭**  
 テラス2は、周辺からは見えづらい真ん中の位置になっており、よりプライベートなテラスになっている。  
 朝は東からの直射を避け、日中は南からの直射を比較的壁で受け、その反射光を光庭を通して、下階へ落している。

**テラス1**  
 テラス1は、テーブルセットなどを置いて、ゆったりくつろぐテラスになっている。  
 遠慮柄だが、隣接をとっているので来客の気遣いは必要にからない。  
 窓物も開口を設けているので北東からの風が抜ける。

**リビング・ダイニング**  
 光庭と2つのテラスに囲まれ、外に繋がったつながる空間になっている。  
 優しく明るく開放的につらがる空間。

**パトスペース**  
 ダイニング横のカウンター下に、大層のサークルを設けた。

**子供室1・子供室2**  
 ある程度大きな年齢の子供を想定しているため、それぞれに扉を設けている。  
 断熱窓のみ窓を設けているが、通風窓として、窓の両側が開くようになっているので、夏朝からの風を捕まえて自然に抜けるように通風を確保している。

**キッチン(カウンタースペース)**  
 パーカウンターを設け、バスツールで壁をかけることができる。  
 運動や通学時にバタバタする時短着や、家族が帰って食事を取れないときに、簡単に壁で食事ができるスペース。  
 また、納めスペースとしても。

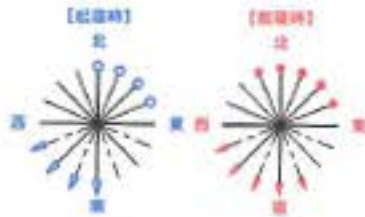
**パントリー**  
 キッチンカウンターやキッチンバック収納だけでなく収納力はあるが、小規模なパントリーを設け、ストック管理を確保。  
 床から天井までの可動棚。

**構造**  
 LDKを広く開放的に取るために、床間に耐力壁を配置している。

2F平面図 (S=1/100)

通風(卓越風の風向き)

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が、自立循環型住宅への設計ガイドラインとして、自然風の利便を目的として、気象データを公開している。  
 全国各地の地点で統計データが確認できる。  
 特に夏季に多く卓越風の風向きを、記録時と記録時の分けて確認することができる。  
 風向きを考慮して窓の配置や開く向きを検討している。



項目	基準	計画値	200
標準的気候(℃)	1.7	1.8	

方位	北	北北東	北東	東	東南東	南東	南	南南西	南西	西	西	北西
記録時	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
記録時	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

© 2017 株式会社 建築環境・省エネルギー機構